

2022年4月18日

各 位

会 社 名 株式会社ワイズテーブルコーポレーション
代表者名 代表取締役社長 船 曳 睦 雄
(コード：2798 東証スタンダード)
問合せ先 上 席 執 行 役 員 武 本 尚 子
(TEL：03-5412-0065)

営業外収益、営業外費用、特別損失及び法人税等調整額の計上、固定資産の取得、並びに2022年2月期連結業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

当社は、2022年2月期第4四半期（2021年12月1日～2022年2月28日）において、助成金収入（営業外収益）、営業外費用、特別損失及び法人税等調整額を計上することとなり、また、固定資産を取得いたしました。

また、2021年10月14日に2022年2月期連結業績予想を公表いたしました。連結業績予想と本日公表の実績値との差異が生じました。

これらについて、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 助成金収入（営業外収益）の計上について

当第4四半期において、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための協力金、及び雇用調整助成金等37,324千円を営業外収益に計上いたしました。この結果、2022年2月期連結会計年度の助成金収入の合計は1,616,045千円となりました。

また、持分法適用会社である株式会社ICONIC LOCATIONS JAPANについて、持分法による投資利益6,737千円を計上いたしました。

これらの結果、2022年2月期連結会計年度の営業外収益の合計は1,787,695千円となりました。

2. 営業外費用の計上について

当第4四半期において、金融機関との約定に基づく支払利息6,300千円及びその他の営業外費用614千円を営業外費用に計上いたしました。

これらの結果、2022年2月期連結会計年度の営業外費用の合計は38,078千円となりました。

3. 特別損失の計上について

当第4四半期において、当社運営の「SALVATORE CUOMO & BAR 仙台」等8店舗ほかの資産について減損の徴候が認められたため、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、減損損失102,786千円を計上いたしました。

4. 法人税等調整額（益）の計上について

現時点での将来課税所得を見積り、繰延税金資産の回収可能性を検討した結果、当第4四半期において繰延税金資産を計上することとし、法人税等調整額（益）88,439千円を計上いたしました。

5. 固定資産の取得について

当第4四半期において、当社運営の「XEX 日本橋」ほか直営店の改装及び維持更新投資、並びにデリバリー用バイクの購入等により、固定資産38,828千円を取得いたしました。

これらの結果、2022年2月期連結会計年度の固定資産の取得額の合計は125,975千円となりまし

た。

6. 2022年2月期連結業績予想と実績値との差異について

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	8,801	△1,259	385	409	138.02
今回発表実績 (B)	8,148	△1,446	303	314	106.11
増減額 (B-A)	△652	△186	△82	△94	△31.91
増減率	△7.4%	—	△21.4%	△23.1%	△23.1%
(ご参考) 前年同期実績 (2021年2月期累計)	8,288	△1,905	△1,384	△1,502	△564.56

(差異の理由)

2021年10月14日に公表いたしました2022年2月期連結業績予想は、2021年10月以降も新型コロナウイルス感染症の影響は残るものの、2022年2月末に向けて徐々に解消されるとの想定に基づき作成いたしました。

しかしながら実際には、2021年10月から2022年1月上旬においては売上高の回復がみられたものの、2022年1月以降のいわゆる第6波の到来とそれに伴う営業制限により、売上高は再び落ち込み、予想を下回る結果となりました。コスト削減を進めたものの、売上高の減少を補うには至らず、営業利益及び経常利益ともに予想を下回りました。予想に織り込んでいなかった減損損失102百万円を計上したことにより、同じく予想に織り込んでいなかった法人税等調整額△88百万円の計上はありましたが、親会社株主に帰属する当期純利益においても予算を下回ることとなりました。

以上

本リリースに関するお問い合わせ先： 株式会社ワイズテーブルコーポレーション
 経理・財務・IRグループ TEL 03-5412-0062